

Challenge News

【チャレンジニュース】

No.83
2014

2

携帯電話で
ホームページへ
アクセス!!



PICK UP!!

- ・入所サービス管理責任者より
- ・医務課、栄養課より
- ・入所ご利用者様インタビュー
- ・新人職員対談
- ・入所余暇支援活動特集



特集

めいとくの里の

入所施設ってどんなところ?

石井副施設長

原点

ご利用者様の笑顔で
元気をもらっています！

開所して9年が過ぎ、平成26年4月には10年目の年を迎えます。今でこそ活動や行事を行うために必要な物品が揃っていますが、開所した当初は机・椅子さえもなく、ご利用者様・職員みんなで汗を流し、建物周辺の芝植え、環境整備から始めた事を今では懐かしく感じます。当初は毎日のように「明日何をしよう?」「今あるものでできることは?」を模索しながら知恵を絞り活動を行っていました。朝晩の施設での生活も、ご利用者様の大半の方が初めてで、自宅とは違う環境の中、食事を摂ることができない方、排泄ができない方、落ち着かず建物の中にさえ入ることができない方等、生活していく上で最低限必要となる食事・排泄・睡眠の3つをどうしたら安心して提供していけるのか、リズムをつくっていけるのかを必死になって考えていたことを憶えています。「昨日よりはリラックスした様子」「話しかけてくれること、聞いてくれることが増えた」「笑顔を見ることが出来た」等、ほんの少しの進歩、わずかな成功に大きな喜びを感じ、それが次の力の源となっていました。この原点があって今のチャレンジめいとくの里があるように思います。



石井副施設長仕事風景

チャレンジ合宿で得たもの

開所して2年が過ぎたころ、「チャレンジ合宿」という1泊2日の療育キャンプを開催しました。趣旨としては自立支援法がスタートし、新たなサービスが出来たことで進路に悩まれている方の相談を多く受けたことや、施設が開所して2年が過ぎ落ち着いてきたことで支援者にもマンネリ化が出てくる時期ということもあり、お互いに良い刺激となるのではと思い開催しました。たった1泊2日の合宿でしたが、初めての方を受け入れから、最後ご家族の方へ引き継ぐまで、すべてを一人でやることは参加した殆どの支援員が初めての経験で、緊張の中必死になって情報をご家族の方から聞き出し、観察し、支援していくことは普段得ることが出来ない貴重な経験をすることができたと思います。このチャレンジ合宿を行ったことで施設で支援していくうえで大切なことを再認識し、一人のひとと真剣に向き合うこととは?ということなのかを学ぶ良い機会になったと感じています。

運営ポリシー

こうした経験を経て、5年目からは理事長より運営ポリシーが掲げられるようになりました。

平成21年度：ご利用者様本位のサービスを考え提供する。地域に出る！

平成22年度：おもしろくて、たのしいめいとくの里をつくろう！

平成23年度：おもしろくて、たのしいめいとくの里をつくろう！Part 2

平成24年度：こころとこころが通う、深く向き合った支援をしよう！

平成25年度：こころとこころが通う、深く向き合った支援をしよう！Action！

この運営ポリシーに沿って、これからチャレンジめいとくの里をどんな施設にしていきたいのか、自分のカラーを作り、より色濃いものにしていくには何をしていけば良いかを考え、実践しています。



平成25年運営ポリシー

障害者虐待防止法から学ぶこと

運営ポリシーに沿って、この5年間で夜の余暇活動のディスコ・E S M、スタークラブでの個別活動、施設内通貨ミューを使った取り組み等様々な新たなチャレンジを行ってきました。そんな中、平成24年10月から障害者虐待防止法が施行されました。開所して10年近くになると良い面・悪い面が出てきます。自分たちも気付かないうちに権利擁護に関して麻痺してしまっていたり、「おもしろくて、たのしい」を追い求めているうちに権利擁護が疎かになってしまったりと、そういった意味ではこの障害者虐待防止法のスタートは権利擁護についてもう一度自分たちの支援を見直すきっかけとなっています。毎朝の朝礼での権利擁護スローガン唱和、年2回の定例アンケート調査の実施、外部講師を招いての内部研修等、様々な取り組みを行っています。権利擁護に関しては定期的に考える機会を持ち、意識し続けていくことが大切だと感じています。

10年目に向けて

施設入所支援では365日生活をされている方がいらっしやいます。運営ポリシーの中にもありますが、めいとくの里が目指している目標のひとつに、みんなが「おもしろい」「たのしい」と思ってくれる場所となるということがあります。一瞬ではなく、おもしろい、たのしいと思いつけてもらえるようになるためには?をこれからも追い求めていきたいと思っています。それにはたくさんの要素が必要ですが、今まで学んだこと、新たなことへのチャレンジ精神を忘れず、原点のほんのわずかな、ちいさな、「気付き」を大切にしながら毎日施設で生活されている方に「おもしろくて、たのしい」を届けていけたらと思っています。

医務課、栄養課より



医務課では皆さんの健康の維持を一番に考えて日々の業務にあたっております。以前は基本となる通院が一日に5件ほどあり、施設に戻ってくる時間が夕方となる日も少なくありませんでしたが、最近では病院からもご理解頂き、一日2~3件に調整し、健康維持のお手伝いをさせて頂いております。しかし、どこの病院も外来患者数は多く、待ち時間が数時間と病院受診に掛る時間が長いのが実状です。

薬についても安全に提供できるよう細心の注意を払っております。入所、グループホーム・ケアホームの方合わせて60名の薬の管理、帰省薬の準備、通所ご利用者様の薬のセット、その他にも外用薬の準備と様々です。名前、日付けの記入等、服薬時に間違えることがないように準備とチェックを行っております。職員へも研修、実技、実態調査を定期的に行い、ご利用者様に毎日安全に提供していけるよう努めております。

季節的にインフルエンザ、風邪などが流行する時季です。体調を崩される方も予想されます。施設内では手洗いの実行を呼び掛けております。感染を予防するには手洗いに勝るものはありません。どうぞ、ご家庭でも手洗いをして頂き、健康で過ごされますようご協力をお願い致します。

今後も、ご利用者様が健康で毎日を元気に過ごされますよう、専門職としてのお手伝いをさせていただきます。今後共、宜しくお願い致します。(文:古田)



いつでも
ご相談ください!

左から、松村・古田看護師



左から、西田・永友看護師



◀医務室風景



ご利用者食事風景

食事はご利用者様の元気の源であり、日々の生活の中での楽しみの一部です。ご利用者様の嗜好に対応し、安全で家庭的な見た目も楽しんで頂ける食事づくりを心掛けています。

昨年6月より委託会社が「魚国総本社」さんへ変更になり食器も一新し心機一転スタートしております。また、メニューについても好評をいただいております。食事を楽しんで頂ける取り組みとして、行事食・誕生会メニュー・セレクトメニュー・麺・味御飯を週1回取り入れるようにし、ボリューム感があるメニュー内容となるよう考えています。又、栄養ケア・マネジメントにより、ご利用者様の健康状態を把握し、個々に適した食事が提供できるよう、多職種との連携も大切にしております。

これからもご利用者様のおいしかったの笑顔が見れるよう、喜ばれる食事づくりを目指していきます。

(文:山木)



職員食事風景



美味しい食事を
提供させていただきます!



左から、厨房の皆さん・山木栄養士

ご利用者様インタビュー

～またはお茶会～

2013年12月にご利用者様4名を招いて、石井副施設長・今井支援員・山本支援員も加わりインタビュー（お茶会！？）が行われました。ご利用者様が普段どんなことを考えて生活されているのかお聞きしたのですが、意外とおもしろいトークになりました。

※参加ご利用者様…Kさん・Hさん・Fさん・Nさん
参加職員……………石井副施設長・今井・山本

山本 まず、めいとくで楽しいことは何ですか？

Kさん ご飯！たこ焼き食べたい！

Fさん 食べたか～！

Hさん 部屋の片付けをしてミューをいっぱい貯める！

今井 …まだ2ミューしかないんですけど…笑
（一同大爆笑）

石井 今までで楽しかったことは？

Kさん フェスタ。焼き芋大会。

石井 憲正さんと行ったサーカスが思い出ですね。
中に入れなくてゲームセンターに行きましたね。

Nさん 人がいっぱいだった。お客さん。

石井 これからも続けてほしいことは？

Kさん 泊まりの旅行。またさくらグループがいいな。

Hさん 私はお祭り～！



茶話会メンバーで集合写真

※ミュー（施設内通貨）とはめいとくの里で使用できるお金のことです。



左から、Kさん・Fさん

石井 好きな職員は？

Kさん 恥ずかしい…下城さん♡

Hさん 今井さん（担当支援員）

Nさん 馬場さん（またまた担当支援員）

Fさん えっと…山本さん（やっぱり担当支援員）

山本 担当支援員以外を答えても怒りませんよ♪

山本 じゃあ最後にめいとくへリクエストはありますか？

Kさん ドライブでジュースを飲む！
毎日おやつ食べたい。

Fさん …（考え中）

Nさん …（考え中）

Hさん UFOキャッチャー！
プリキュアのキャラクター！

最後までマイペースな皆さんでした。今後も色々なメンバーで茶話会？をしたいと思います。おしまい♪

（文：山本）



茶話会風景



新人座談会

～新人の本音を直撃～

2013年12月に新人職員4名（河内・下城・豊久・馬場）と石井副施設長が本音を語る為に集まりました。他の新人職員は石井副施設長と話すことを楽しみにしていたが、勤務の都合上参加出来ませんでした。第2回に期待しましょう。

※参加職員……………石井副施設長・河内・下城・豊久・馬場

馬場 これから第1回新人職員座談会を始めたいと思います。

豊久 第1回なんだ(苦笑い)。第2回があるみたいだ。

石井 河内さんは第2回で…。

河内 (すかさず)なんで私だけ第2回…。一同笑い

Q. めいとくに入って来た理由は？

下城 (以前の施設で)支援に行き詰ってしまって、支援の幅を広げたいと思って…。

馬場 めいとくはどうやって知った？

下城 同じ業界だったので…。ただ、聞いてたのが、利用者満足度調査があって、めいとくがすごくよかったみたいで、そういうところで働いてみたいと思って…。

石井 自分が確か案内したよね、見学…(にやり)。

河内 えっ、あっ、はい…。覚えてます…(苦笑い)。

※しばらく河内いじりが続きます…。



座談会風景



左から、下城・河内・馬場・豊久

よろしく
お願いします！



めいとくフェスタ・ディスコ風景



EMS、新人出し物

河内 友達が先に説明会に行っていて、「良かったよ。」と言ってたので、行ってみようかと…。

河内いじりが長く、物思いにふけている豊久に馬場が不意打ちに

馬場 豊久さんは？

豊久 (私に返って)えっ！？あ～、僕の番ね…(汗)。え～っとですね…。元々は研究職志望でしたが、研究に限界を感じて…。送迎や細かいニーズに応えることが出来る場所と分かっていたので…。ところで馬場さんは？

馬場 いやあ～、かなり流れで申し訳ないですけど、最初はサマーほっととでやってたんですけど…(笑)。

石井 ゴリ押ししたよね。

馬場 サマーほっととが7月20日からだったんですけど、7月の初めから来ることになって…。サマーほっとと以降はないと思ってたので、一般企業を考えてたのですが、石井さんからこの後もよろしくと言われたので、そのまま…(笑)。

新人職員と石井副施設長との座談会は1時間30分以上続いた…。最後に若い力でめいとくの里を盛り上げていくことを誓いました。今後の私達に期待してください。では第2回があれば、またお会いしましょう(笑)

(文:豊久)

ESMとは… イベント・スペース・めいとくの略です。様々な余暇活動を提供しています。

入所余暇支援活動特集

ESM～ディスコ・新人出し物～

今年度最初のESMは皆さんがいつも楽しみにしているディスコです。新人職員の出し物もあり大盛り上がりでした。



スタークラブ～蛍見学～

旭志町に蛍を見に行きました。あいにく蛍の写真はありませんが、皆さんの笑顔が蛍以上に輝いています。



ESM～カラオケ・映画～

余暇は映画やカラオケで楽しんでいます。夜の主役は私達です。



ゴールデンウィーク外出

GW外出では買い物したり、つつじをみました。
飛行機見えたかな？



スタークラブ～サンクスイルミネーション～

再春館のサンクスイルミネーションはキラキラして
とても綺麗でしたよ。



夏季キャンプ IN 大分(九重)

九重夢の大吊橋、ガンジーファームでのソフトクリームは
最高でした。



ESM～めいとく夏祭り～

7月にめいとく夏祭りを行い、ゲームやカラオケをしました。
最後は花火をして夏を満喫しました。



SOCIAL WELFARE COMPANY
MEITOKUKAI
社会福祉法人 明徳会



障がい者支援施設

チャレンジめいとくの里

生活介護
施設入所支援
短期入所
日中一時支援

ゆめくらしワークス事業部
就労移行支援
生活訓練
就労継続支援B型

〒861-5503 熊本市北区明徳町707-1
☎096-215-9101 ㊚096-245-2344
mail c.meitoku@meitokukai.jp

☎096-215-9103 ㊚096-273-6343
mail meitokunosato-works@meitokukai.jp



障がい者ケアホーム&グループホーム

ゆめくらし事業所 orangehouse

共同生活援助
共同生活介護



地域生活支援センター チャレンジ

相談支援事業

〒861-0132 熊本市北区植木町植木163-1-1F
☎096-227-6450 ㊚096-227-6451
mail meitoku-challenge@live.jp



明徳会ホームページ

<http://www.meitokukai.jp>